



武蔵野市 アマチュア無線通信 ボランティア連絡会

災害時に市民の生の声を行政に届け、速やかな対応につなげようと、武蔵野市アマチュア無線通信ボランティア連絡会は今年3月に市と協定を結びました。



左／会長・伊藤善文さん
右／副会長・斉藤義行さん

3月30日の協定締結の様子。

災害時には市民による 通信拠点として活躍

災害時は情報が人命を左右する場合があります。近年の大規模災害時には、電話やインターネットにアクセスが集中し、回線が寸断される状況の中で、通信を持続できたアマチュア無線が活躍し注目されました。

そこで、市内のアマチュア無線家たちから構成される「武蔵野市アマチュア無線通信ボランティア連絡会」が発足し、災害時には市の情報収集に協力することで、今年3月30日に市と協定を結びました。

具体的には、連絡会のメンバーが市内20カ所の避難所に対して担当を持ち、災害発生時は無線機を持ち込んで各避難所の状況を市と共有します。

連絡会のメンバーは現在約20名。いずれも最寄りの避難所を担当しますが、災害時は全員が現場にかけつけられない可能性もあるため、理想は1カ所2名体制です。連絡会は今後、勉強会や訓練なども企画し、参加者を増やしていく方針です。



市役所内の無線クラブ室も拠点の1つです。



アマチュア無線は携帯電話よりも広い電波帯を扱うことができる。



名刺のように相手と交換する交信証は無線の楽しみの1つ。



車内の無線機は、移動中に対応でき、電源も確保される。

アマチュア無線の 魅力を強みに

連絡会の会長の伊藤善文さんと副会長の斉藤義行さんは、災害時のアマチュア無線の有用性について3つの特性を挙げます。(1)電池で使用でき、停電中でも電源確保が容易である。(2)小型機も多く携帯性に優れている。(3)電話と異なり、多数で同時に情報を交換できる。

そしてこの特性はそのまま、無線の魅力でもあります。「楽しめて、人の役に立てる趣味です。協力いただける方、興味がある方がいらっしやいましたらぜひご連絡ください」と穏やかに語る斉藤さんも。その声はいつか人の命を救うかもしれません。

武蔵野市 アマチュア無線通信 ボランティア連絡会

アマチュア無線の愛好家で構成されるボランティア団体。現時点では伊藤善文さんが会長を務める「武蔵野市アマチュア無線同好会」(2004年発足)の構成員などが基本となっている。

☎0422-30-2880